

パパママ共育啓発冊子 「イクカジのススメ」

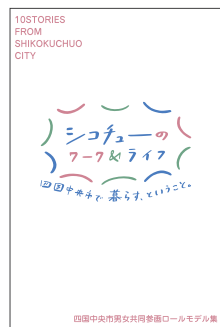


先輩パパママの経験が詰まっています「イクカジ」にお役立てください



夫婦がともに子育てを楽しめる四国中央市を目指し、この度本市では、愛媛信用金庫(八石玉秀理事長)から頂いた企業版ふるさと納税を活用して、パパママ共育啓発冊子「イクカジのススメ」を発行しました。冊子は、妊娠届提出時に保健センターでお渡しするほか、市内企業などに配布します。これから子育てをする皆さま、そして地域の皆さま、是非お読みください。

男女共同参画ロールモデル集 「シコチューのワーク&ライフ」



皆さまの新たな発見の一助になれば幸いです

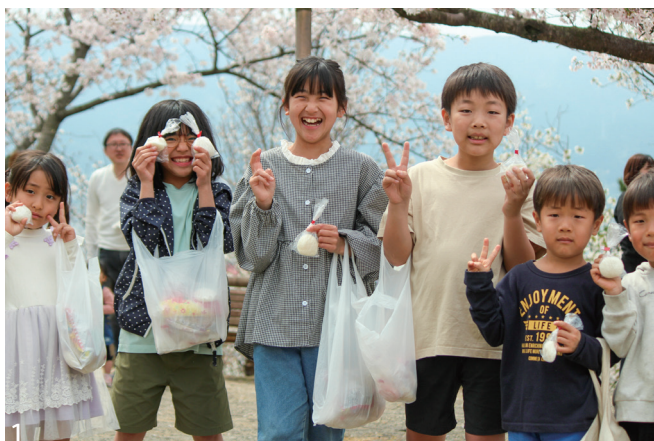


担当した砂田七彩子さん(愛媛大学4年)

性別を理由に生き方や人生の選択が制限されず、全ての人々が家庭や学校、職場や地域で個性と能力が発揮できる社会づくりが必要です。この度本市では、男女共同参画社会の実現と進学などで地元を離れた若者が本市に戻るきっかけになってもらえるよう、「シコチューのワーク&ライフ」を発行しました。

冊子では、市内の企業で活躍している10名を紹介。制作は、愛媛大学社会共創学部産業イノベーション学科紙産業コースの学生にご協力いただきました。

この冊子は、地域振興課と各窓口センターで配布しています。また市公式YouTubeでは、インタビュー動画を公開中。



1. 城山公園(川之江町) 2. 三島公園(中曽根町) 3. すずきヶ原入野公園(土居町入野)

4年ぶりの「春」に笑顔あふれる 各地で桜まつり開催

新型コロナウイルス感染症対策のため、3度にもわたり開催が見送られていた「桜まつり」が、4年ぶりに市内各地で開催されました。天候に恵まれた今年の名所では、満開の桜の中、餅投げや楽器演奏、ダンスやゲーム大

会など、各種の催し物が行われ、訪れた多くの人たちで賑わっていました。



広報で撮影した桜の写真をホームページに公開しています

川之江信用金庫×JR四国×四国中央市 本市「初」ツアーがSDGsアワード

地域の活性化と住み続けられるまちづくりをテーマに、川之江信用金庫(日浦博基理事長)



が企画、JR四国や市、地元企業などの連携で昨年初開催した「日本一の紙のまち四国中央市ツアー」。この取り組みが、持続可能な開発目標の達成に資する優れた取り組みであるとして「えひめSDGsアワード2022」奨励賞を受賞しました。本市の歴史と伝統、産業や食などを五感で楽しめるツアーは、参加者だけでなく、審査員からも高い評価を受けました。

ツアーを担当した同金庫の藤田佳己次長(写真左)と熊野小都さん(同右)は、「これからがスタートです。本市にはまだまだ紹介したい魅力があります。第2弾、第3弾にご期待ください」と話しました。

株式会社ゴークラ 自由画帳 990 冊を寄贈



3月23日、株式会社ゴークラ（望月康平代表取締役）から市内認定こども園など9園に、自由画帳990冊が寄贈されました。

大岡詩苑さん（新宮中3年） フェンシング世界大会 出場



3月にウズベキスタンで開催されたアジア大会に出場し、日本人最高位となる6位の成績を収めた大岡さん。3月20日には篠原市長を表敬訪問し、同大会の結果と4月にブルガリア共和国で開催される「世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権ブルガリア大会」への出場を報告しました。



久保翔太郎さん（川之江南中2年） 全国水泳競技大会 出場

2月に行われた公式・公認競技大会で標準記録を突破した久保さん。3月23日には篠原市長を表敬訪問し、出場を決めた「全国」JOジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」への意気込みを話しました。

所属や役職、学年などは取材時のものです



日本赤十字社愛媛県支部四国中央市地区長である篠原市長に目録を手渡す曾我部社長

3月20日、トルコ・シリア大地震の被災者を支援するため、大王海運株式会社（曾我部雅司代表取締役社長）が、日本赤十字社に救済金100万円を寄贈しました。

曾我部社長は「生活インフラや医療体制が厳しい状況だと聞いています。被災された方々の生活が少しでも改善されるように、この救済金が使われることを願っています」と、救済金に込めた思いを話しました。

大王海運株式会社 トルコ・シリア地震救援金を寄贈

ジェイ・ワークス株式会社 企業版ふるさと納税



贈られた感謝状を手にする大平哲代表取締役。港区白金台の東京本社にて

東京都港区に本社を構え、高級洋菓子やチョコレートの製造・販売などを手掛けるジェイ・ワークス株式会社（大平哲代表取締役・川之江町出身）から、企業版ふるさと納税200万円が寄贈されました。頂いた寄附金は、大平代表取締役のルーツがある切山地区（金生町山田井）のふるさと創生推進事業に活用させていただきます。



疏水感謝祭で 先人の遺徳を偲ぶ

3月26日、日本一の紙のまちを誇る本市の紙産業や農業など、本市の発展に大きく寄与した銅山川の分水事業を称える疏水感謝祭が

戸川公園（上柏町）でありました。地元住民でつくる上柏公益会（片岡昌会長）による同祭事には、紙産業関係者や市民、行政など約130名が参加。先人の遺徳を偲ぶとともに、市民生活を支えている水の恵みに感謝を表しました。

そして今年は、感染症対策のため中止されていた恒例の餅投げを開催。桜の咲き始めた園内に、人々の笑顔と歓声が溢れていました。

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、市ホームページ「まちの話題」に掲載しています



県下市町初 法皇青年会議所が見守る中 「ベビーファースト運動」に参画



ベビーファースト運動とは、公益社団法人日本青年会議所が推進している「子育て世代が、子どもを“産み育てたくなる”社会の実現」を目指した運動です。

3月16日、公益社団法人法皇青年会議所（坂上慶浩理事長・写真右から2番目）の皆さまが見守る中、篠原市長が「地域みんなが子育てサポーター、子育て・子育て応援都市を目指します」と、ベビーファースト運動に参画することを宣言しました。

本市は、今後も市民や企業、行政が一体となり、地域で赤ちゃんを育てていく優しいまちづくりを進めてまいります。

本紙2月号でもお知らせしました城山下臨海土地造成事業がスタートします。3月28日、事業地に隣接する川之江浜公園（川之江町）で行われた起工式には、工事関係者など約70人が出席。篠原市長は「難しい工事ではありますが、安全管理を徹底し、最後まで事故がないよう取り組んでほしい」と話しました。



城山下臨海土地造成事業 起工式
工事の無事完成を願う

3月29日、ベビー用紙おむつが購入できる「子育て支援自販機」が、本市では初めて霧の森に設置され、その除幕式が行われました。この自販機は、大王製紙株式会社（若林頼房代表取締役社長）とダイドードリンコ株式会社（中島孝徳代表取締役社長）などが共同開発。本市の子育て応援の一環として、子連れの利用客も多い霧の森に設置されました。



安心して施設をご利用ください
霧の森に紙おむつ自販機設置

市長の ひとりごと

4月に入り、雨もそこそこ降り、県会議員の選挙も収まり、新しい年度が展開できる体制になってきた。

4月3日、年度の初日、出先機関だけでも挨拶しておこうと思って、土居から新宮まで回った。ちょうど昼過ぎに休憩がてら、一旦市役所に帰ろうとして市民交流棟から庁舎への渡り廊下を歩いていたら、かわいい男の子の手を引いた知り合いの女性に会った。長男も3歳になり、職場復帰しようと思っているというのであった。慣れるまで少しは時間はいるかもしれないが、彼女ならすぐ戦力になるだろうと思うた。

はや葉桜がさわやかにゆれている

時が経つのは早いね。感心するね。もうどこから見ても立派なママになって、家に帰れば長男とかわいい言葉のバトルをやっているのだろう。だんなさんも優しいそうなんだから、少々のはことは、まあそんなものかとおおらかに構えて、その空間をぜひ大事にしてねと思う。

重要案件が具体化してきている。各部各課、力を合わせて結果を出して欲しいと思っている。苦勞かける愚痴は私が一身に受けますから、本市のため頑張ってください！
本年度もよろしくお願いたします。



四国中央市長 篠原 実